

本日の例会（第2254回）

平成28年7月12日(火)

予定行事



★卓話 クラブ討論会 I

テーマ：「四大奉仕委員長方針発表」

卓話者：職業奉仕委員会 阿江 秀典 委員長  
社会奉仕委員会 最上 次郎 委員長  
青少年奉仕委員会 柴崎 秀樹 委員長  
国際奉仕委員会 近藤 治郎 委員長

クラブ奉仕委員会活動計画

委員長 尾下 千明



クラブ奉仕とは定款5条に「本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員がとるべき行動に関わるもの」と規定されています。クラブの機能を充実させる目的は定款第4条に規定の綱領を円滑、効果的に達成させることにあると考えます。わがクラブではその目的のためにクラブ奉仕委員会の中に会員増強・選考委員会、規定・情報委員会、親睦活動委員会、会報・広報委員会の4つの特別委員会を設置しております。本年はこの特別委員会の各委員長のご協力をいただきながらクラブ機能の一層の充実を図り、河合会長のクラブ運営方針「ロータリーを家族と共に」を実践する大いなる支えになることが出来ればと考えております。

皆様のご協力をお願いするとともに、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

次回例会のお知らせ [第2255回・平成28年7月26日(火)]

★皆出席表彰

★お食事は洋食です。

★卓話予定

★例会場 4F 金山華の間

・テーマ：「方針発表」

・卓話者：「クラブ奉仕委員会」 尾下 千明 委員長  
「ロータリー財団」 田中 潤治 委員長  
「米山奨学会」 小山 登 委員長

★7月19日(火)の例会は休会です。

前回例会(第2253回・7月5日(火))の報告

- ・来客紹介 7名  
(2660地区内 7名・地区外 0名・ゲスト 0名)
- ・出席報告

	6月14日	6月21日	6月28日	7月5日
会員総数	47名	47名	47名	47名
出席免除会員数	14名	14名	14名	14名
欠席会員数 (内、出席免除会員数)	10名 (5名)	13名 (4名)	14名 (7名)	14名 (6名)
出席率	88.10%	79.70%	82.50%	80.49%
修正出席率 (メーキャップ数)	90.05% (1名)	93.02% (6名)	_____	_____

- ・ラッキーくじ  
賞品名 『全国デパート共通商品券』  
賞品提供者 尾下 千明 会員  
当選者 小山 登 会員  
          富島 俊治 会員  
参加者数 15名
- ・卓話  
テーマ「新年度挨拶」  
卓話者：河合 秀行 会長
- ・新入会員 紹介



葛井 啓三 会員

- | 会員名   | ニコニコ事由  |
|-------|---|
| 全出席会員 | =新年度を迎えて。                                     |
| 竹井三千彦 | =河合丸の船出を祝い、国家独唱致しましょう。(注)独唱とはみんなと同じ音律を歌うことです。 |
| 瀬田川昭俊 | =本日ご入会の葛井啓三さんをよろしくお願ひ致します。                    |
| 富島 俊治 | =親睦委員の皆様、SAAの皆様! 1年間ご苦労様です。                   |
| 小山 登  | =月初にあたり。                                      |
| 妙中 茂樹 | =SAAに声をかけられて。                                 |
| 増田 久弥 | =今期1年間、SAAを担当します。よろしくお願ひ致します。                 |

R I テーマ  
人類に奉仕するロータリー



2016-17年度国際ロータリー会長  
ジョン・ジャーム

111年の歴史の中で、ロータリーは多くの人に多くの意味を持ってきました。会員は、ロータリーを通じて友人と出会い、地域社会とつながり、目的意識を持ち、人びととの絆を育み、キャリアを築き、ほかでは味わえない貴重な経験をしてきました。毎週、世界34,000以上のクラブのロータリアンが、語らい、笑い、アイデアを分かち合うために集います。しかし、私たちが集う一番の理由は、最も大切な目標、すなわち「奉仕」のためです。

ロータリーの初期から、人類への奉仕はロータリーの礎であり、主な存在理由となってきました。今日の世界で意義ある奉仕を行う最善の道はロータリー会員になることであると、私は信じています。また、世界に確かな変化をもたらすために、ロータリーほど優位な立場にある団体はないと考えています。さまざまな分野から熱心で有能な職業人が集まり、壮大な目標を実現できる団体も、ほかにありません。ロータリーには、世界を変える力、ネットワーク、知識の結集があります。ロータリーに限界があるとしたら、それは私たちが自分自身に設けている限界にすぎません。

現在、ロータリーはとても大事なときを迎えています。今はいろいろな意味で今後を決定づける歴史的な節目です。私たちは力を合わせ、世界に重要な奉仕を行ってきました。そして、今、世界の行く末は、私たちのさらなる奉仕にかかっています。世界でもっと大きな「よいこと」の推進力となるために、固い決意と熱意でポリオ撲滅を成し遂げ、勢いをつけてロータリーをさらに前進させながら、これまでの成功をバネに飛躍するときが来たのです。

(つづく)